



2019年11月19日

各 位

会社名 オルガノ株式会社  
代表者名 代表取締役社長  
内倉 昌樹  
(コード番号 6368 東証第一部)  
問合せ先 取締役執行役員 経営統括本部長  
須田 信良  
(TEL. 03-5635-5111)

## (訂正)「2020年3月期上期決算説明会」の一部訂正に関するお知らせ

2019年11月11日に公表しました「2020年3月期上期決算説明会」の記載内容の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 訂正理由

「2020年3月期上期決算説明会」の記載に誤り及び不備があったため、訂正するものです。

### 2. 訂正内容

#### (1) 5ページ 「20年3月期上期実績：損益計算書」

表中の売上総利益の前期差の改善ポイントに誤りがございました。

(訂正前) +5.5pt ⇒ (訂正後) +5.4pt

#### (2) 10ページ 「上期営業利益分析(前期比較)」

グラフ中の2019年3月期上期のセグメント営業利益の数値に誤りがございました。

18.9(水処理エンジン) (訂正前) 7.6 ⇒ (訂正後) 7.4

18.9(機能商品) (訂正前) 7.4 ⇒ (訂正後) 7.6

#### (3) 13ページ 「20年3月期通期見込：損益計算書」

① 表中の売上高の前期差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +48 ⇒ (訂正後) +47

② 表中の売上総利益の前期差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +30 ⇒ (訂正後) +29

③ 表中の売上総利益の計画差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +15 ⇒ (訂正後) +25

④ 表中の販管費の前期差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +11 ⇒ (訂正後) +10

⑤ 表中の営業利益の前期差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +20 ⇒ (訂正後) +19

⑥ 表中の経常利益の前期差の数値に誤りがございました。

(訂正前) +18 ⇒ (訂正後) +17

(4) 20 ページ 「20年3月期通期見込：営業利益見込分析（前期比）」

① グラフ中の2019年3月期のセグメント営業利益の数値に誤りがございました。

19.3 (水処理エンジ) (訂正前) 50 ⇒ (訂正後) 51

19.3 (機能商品) (訂正前) 15 ⇒ (訂正後) 13

② グラフ中の2020年3月期(見込)のセグメント営業利益の数値に誤りがございました。

20.3 (水処理エンジ) (訂正前) 69 ⇒ (訂正後) 71

20.3 (機能商品) (訂正前) 16 ⇒ (訂正後) 14

(5) 26 ページ 「中計進捗状況：業績見通し」

グラフのタイトルと単位の記載が漏れておりました。

(訂正前) 記載なし ⇒ (訂正後) 売上高・営業利益見通し

(訂正前) 記載なし ⇒ (訂正後) (単位：億円)

なお、該当するページ（訂正前、訂正後）を添付いたします。

訂正後ページでは、訂正箇所を赤色で下線を付して表示しております。

以 上

## 20年3月期上期実績：損益計算書

単位：億円	18.9 実績	19.9 期初計画	19.9 実績	前期差	計画差
受注高	500	450	421	- 78	- 28
売上高	387	430	466	+ 78	+ 36
売上総利益 (%)	93 (24.1%)	99 (23.0%)	137 (29.5%)	+ 44 (+ 5.5pt)	+ 38 (+ 6.5pt)
販管費	78	83	83	+ 4	+ 0
営業利益 (%)	15.0 (3.9%)	16.0 (3.7%)	54.4 (11.7%)	+ 39.3 (+ 7.8pt)	+ 38.4 (+ 8.0pt)
経常利益	15.4	15.5	53.1	+ 37.6	+ 37.6
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	9.1	8.0	36.4	+ 27.2	+ 28.4

## 20年3月期上期実績：損益計算書

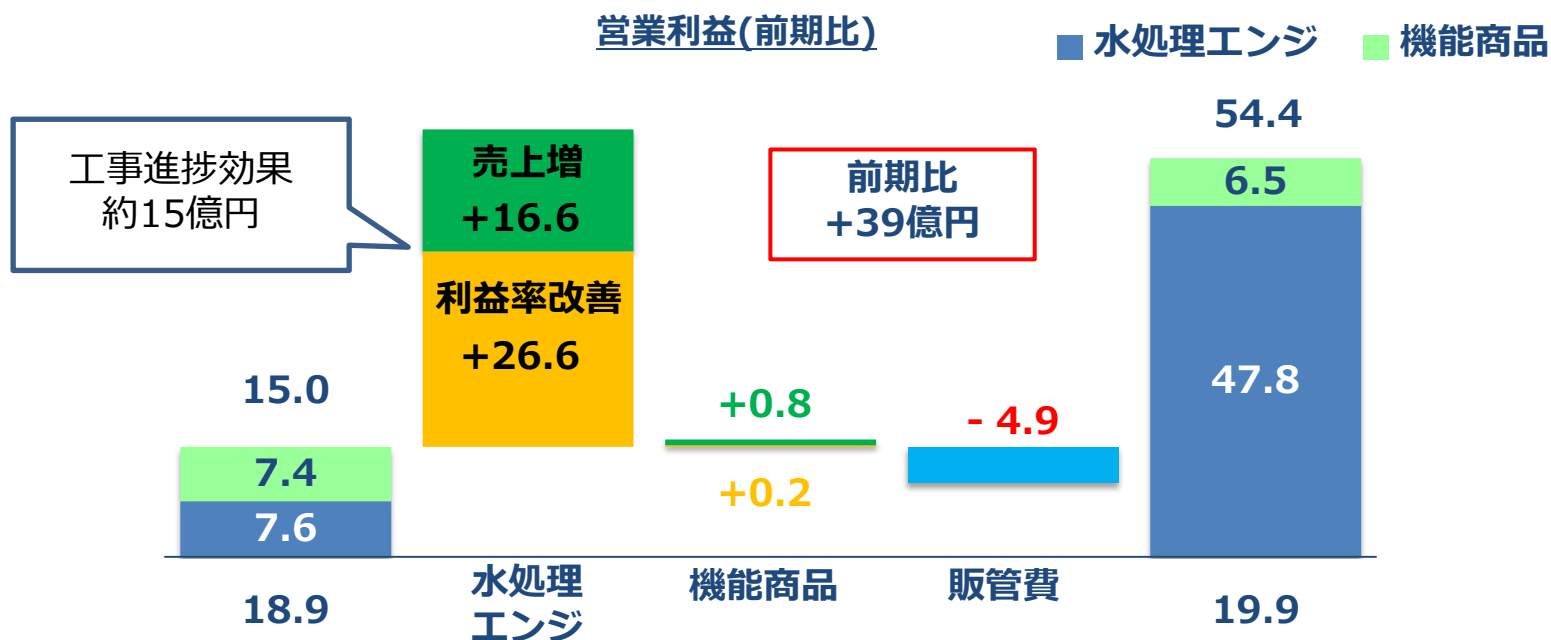
単位：億円	18.9 実績	19.9 期初計画	19.9 実績	前期差	計画差
受注高	500	450	421	- 78	- 28
売上高	387	430	466	+ 78	+ 36
売上総利益 (%)	93 (24.1%)	99 (23.0%)	137 (29.5%)	+ 44 <u>(+ 5.4pt)</u>	+ 38 (+ 6.5pt)
販管費	78	83	83	+ 4	+ 0
営業利益 (%)	15.0 (3.9%)	16.0 (3.7%)	54.4 (11.7%)	+ 39.3 (+ 7.8pt)	+ 38.4 (+ 8.0pt)
経常利益	15.4	15.5	53.1	+ 37.6	+ 37.6
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	9.1	8.0	36.4	+ 27.2	+ 28.4

## 上期営業利益分析（前期比較）

### ・ 上期営業利益は前期比+39億円の大改善

- ⇒ 売上・利益は下期に偏る傾向あったが、受注残拡大で平準化。加えて想定よりも工事進捗が進んだことで下期想定利益の一部上期に実現
- ⇒ 受注減速で海外売上が減少する中、比較的利益率の高い国内案件やソリューション案件が伸長したことで利益率を押し上げ
- ⇒ 収益性を重視した受注戦略によって低採算案件が減少したことも奏功

(単位：億円)

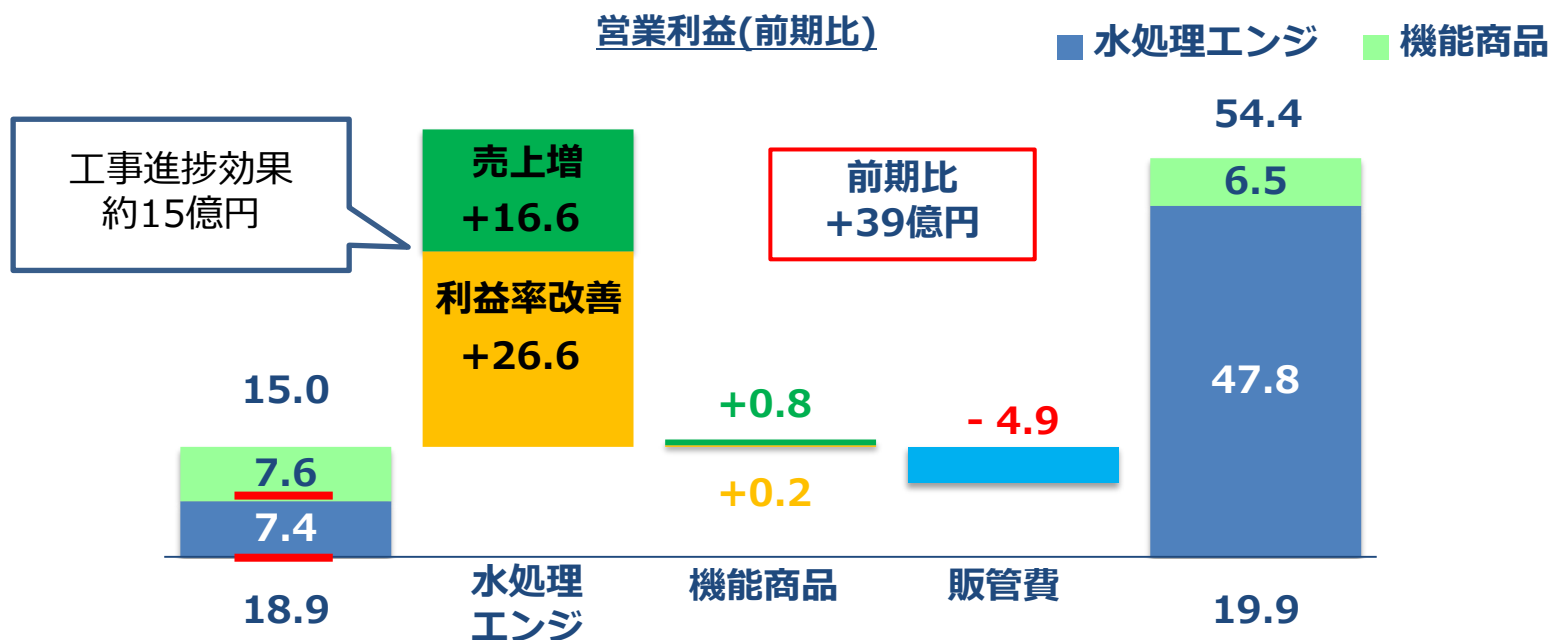


## 上期営業利益分析（前期比較）

### ・ 上期営業利益は前期比+39億円の大幅改善

- ⇒ 売上・利益は下期に偏る傾向あったが、受注残拡大で平準化。加えて想定よりも工事進捗が進んだことで下期想定利益の一部上期に実現
- ⇒ 受注減速で海外売上が減少する中、比較的利益率の高い国内案件やソリューション案件が伸長したことで利益率を押し上げ
- ⇒ 収益性を重視した受注戦略によって低採算案件が減少したことも奏功

(単位：億円)



## 20年3月期通期見込：損益計算書

単位：億円	19.3 実績	20.3 期初計画	20.3 見込	前期差	計画差
受注高	1,038	950	1,000	- 38	+ 50
売上高	922	960	970	+ 48	+ 10
売上総利益 (%)	229 (24.8%)	234 (24.4%)	259 (26.7%)	+ 30 (+ 1.9pt)	+ 15 (+ 2.3pt)
販管費	163	168	174	+ 11	+ 6
営業利益 (%)	65 (7.1%)	66 (6.9%)	85 (8.8%)	+ 20 (+ 1.7pt)	+ 19 (+ 1.9pt)
経常利益	65	65	83	+ 18	+ 18
親会社株主に 帰属する 当期純利益	44	44	56	+ 11	+ 12

## 20年3月期通期見込：損益計算書

単位：億円	19.3 実績	20.3 期初計画	20.3 見込	前期差	計画差
受注高	1,038	950	1,000	- 38	+ 50
売上高	922	960	970	<u>+ 47</u>	+ 10
売上総利益 (%)	229 (24.8%)	234 (24.4%)	259 (26.7%)	<u>+29</u> (+ 1.9pt)	<u>+25</u> (+ 2.3pt)
販管費	163	168	174	<u>+ 10</u>	+ 6
営業利益 (%)	65 (7.1%)	66 (6.9%)	85 (8.8%)	<u>+ 19</u> (+ 1.7pt)	+ 19 (+ 1.9pt)
経常利益	65	65	83	<u>+ 17</u>	+ 18
親会社株主に 帰属する 当期純利益	44	44	56	+ 11	+ 12



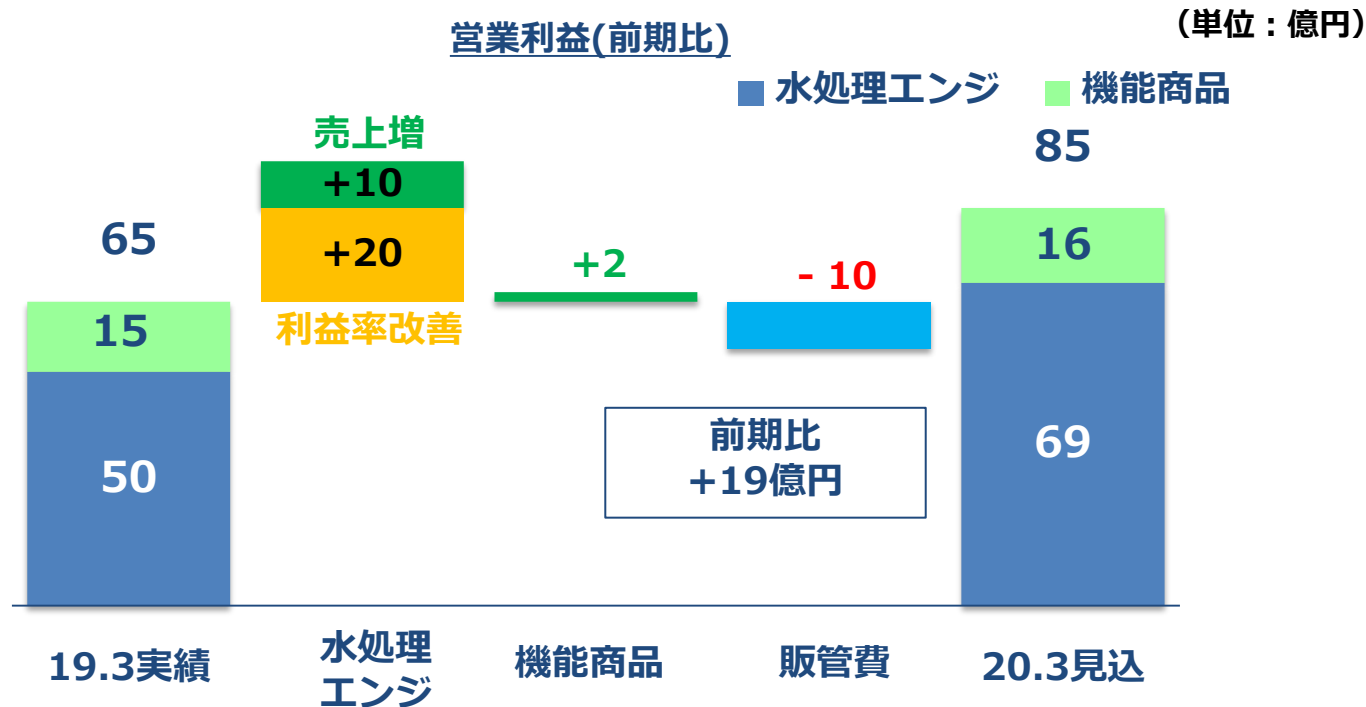
# 20年3月期通期見込：営業利益見込分析（前期比）

## ・通期営業利益は前期比+19億円となる85億円を見込む

⇒ プラント部門の収益性改善やソリューション拡大によって

水処理エンジ事業中心に利益改善

⇒ 体制強化・研究開発など将来投資により販管費は増加



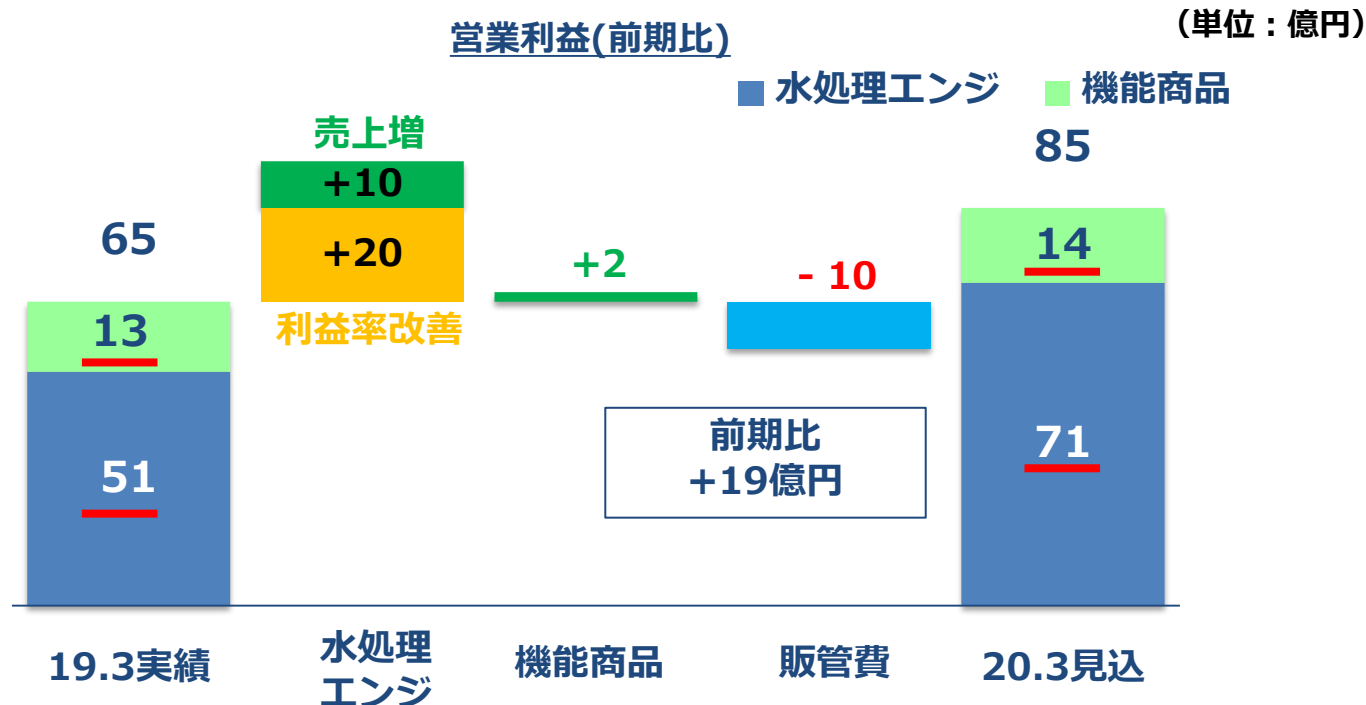
訂正後

## 20年3月期通期見込：営業利益見込分析（前期比）

### ・通期営業利益は前期比+19億円となる85億円を見込む

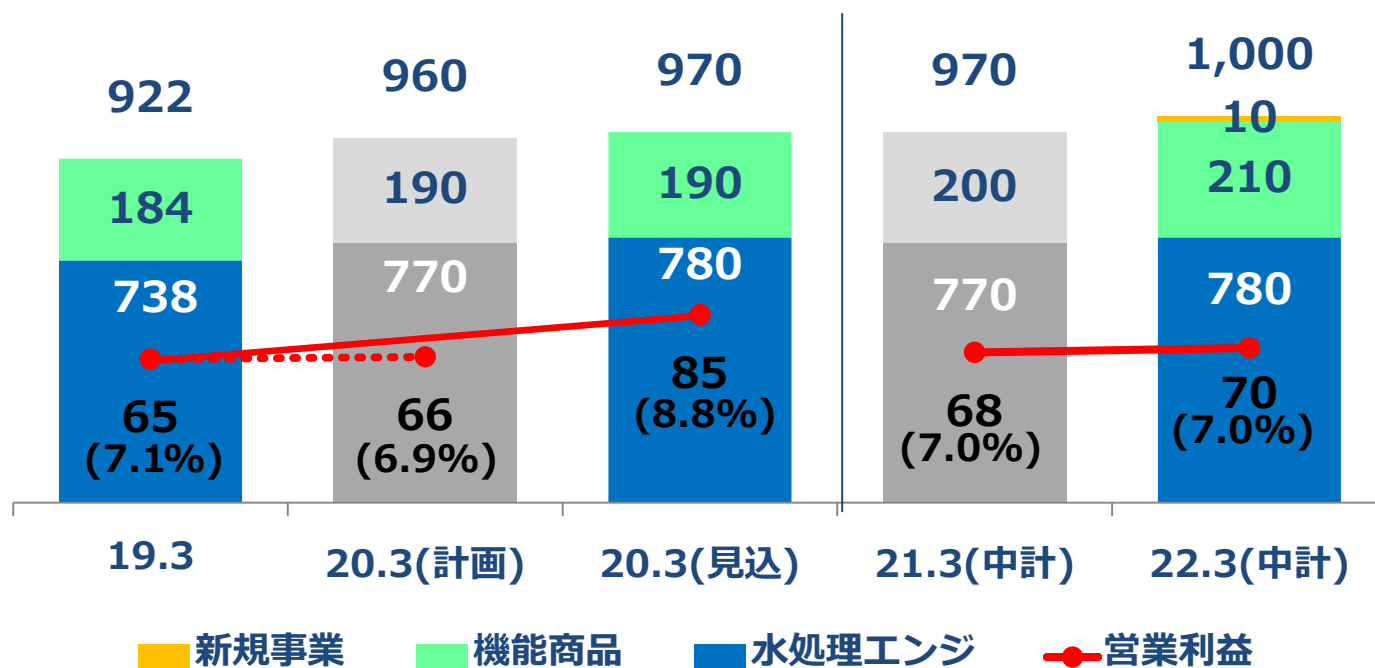
⇒ プラント部門の収益性改善やソリューション拡大によって  
水処理エンジ事業中心に利益改善

⇒ 体制強化・研究開発など将来投資により販管費は増加



## 中計進捗状況：業績見通し

- ・利益改善が進み、20.3期は利益面で中計目標を上回る見込み
  - ⇒ 受注が好調で利益面で追い風、収益改善策にも成果
  - ⇒ 電子産業が想定以上に推移。プラント中心に売上拡大
  - ⇒ ソリューション・機能商品は順調、新規事業は「仕込み」時期



# 中計進捗状況：業績見通し

## ・利益改善が進み、20.3期は利益面で中計目標を上回る見込み

- ⇒ 受注が好調で利益面で追い風、収益改善策にも成果
- ⇒ 電子産業が想定以上に推移。プラント中心に売上拡大
- ⇒ ソリューション・機能商品は順調、新規事業は「仕込み」時期

